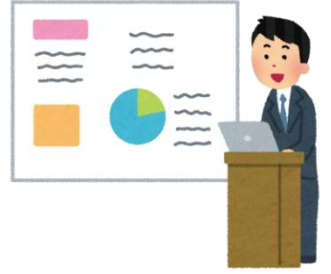


- 子どもの貧困の問題は、深刻な問題であり、若い学生がこのような問題に着眼点を置き、学習したことに感心した。
- 今非常に注目されている活動であり、このような活動に学生が参加してくれたことをとてもありがたいと思う。
- 若いボランティアの参加は活気をもたらし、子どもたちにとってもまぶしい存在として映ったことだと思う。今後も活動を継続していただきたい。期待している。



補助犬を知って学んだこと  
総合福祉学科3年 神田 泰志

私たち3年総合福祉学科は、2月25日、「卒業研究・ケアスタディ発表会」の運営を担当し、また、補助犬をテーマとして研究を進めてきた成果を発表しました。このテーマは先輩方から引き継いでものであり、私たちも募金活動や盲導犬啓発活動としてのチラシ配りなど、ボランティア活動に参加してきました。

これらの活動をとおして視覚障害を持っている方と触れ合う機会があり、どういった移動方法があるのか興味を持ちました。そこで、盲導犬総合支援施設（富士ハーネス）や静岡県補助犬支援センターに足を運び、デモンストレーションや当事者から話を聞く中で、盲導犬の現状と課題について知ることができました。また、**盲導犬はユーザーの体の一部であり、社会参加を後押ししてくれる役割がある**ことを学びました。私たち一人ひとりが障害を持つ方に何気ない配慮するのが当たり前という意識を持ち、一人でも多くの目の不自由な方が自由に外出できるように、補助犬への理解、募金活動への理解が必要不可欠だと思います。

今年は学科の人数が少なく行なうことのできなかった多くのボランティアがあったため、**後輩の皆さんには、学校とボランティアの関係を繋ぎ維持してほしい**と思います。

最後となりますが、ご講評をくださった神田先生並びに光信先生、卒業研究・ケアスタディ発表会に参加してくださったお客様、ご指導をいただいた先生方、本当にありがとうございました。



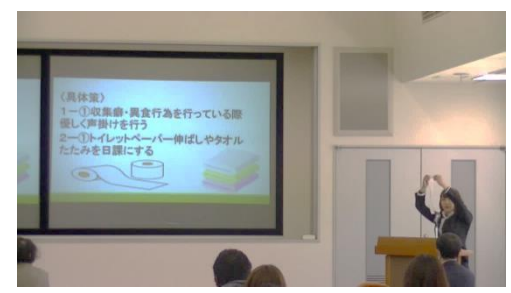
仲間と乗り越え達成したケアスタディ発表  
介護福祉学科2年 片井 千晶

私たちは介護福祉士になるために、この2年間の中で多くの知識や技術を学んできました。その集大成として、「ケアスタディ発表会」というステージで一人ひとりが介護への熱い思いを発表しました。

昨年の先輩方のケアスタディ発表会を見させていただいた際、私はとても感動しました。今年実際にケアスタディに向き合ったとき、発表までのそのプロセスはそう簡単なものではありませんでした。特に、卒業時共通試験の勉強とも重なり、時間の使い方が大変でした。

私はケアスタディ実行委員長でもあったので、自分のことだけやればよいというのではなく、全体の進捗状況等にも配慮し、ケアスタディ集の制作や、当日委員長としての挨拶など、緊張する苦しい日々が続きました。そのような苦しさを仲間とともに乗り越え、自分の思いを精一杯述べられた後には、達成感のような清々さや嬉しさを感じました。そんな思いが後輩に繋がればよいと思っています。

実習先の利用者様、職員の皆様、先生方、仲間があってこそこのケアスタディ発表会であると、心から感謝しております。



視覚障害者と点字 ～私達にできること～  
医療情報秘書科2年 野村 祐衣

病院実習や研修、街中で視覚障害者の方と対面する機会が多くありました。将来、医療事務の職に就く私たちはその際、視覚障害者の方とのコミュニケーション方法をもっと理解し、適切な対応をすることが必要だと考え、研究を行ないました。実際に点字図書館を見学したり、ボランティアに参加させていただいたり、私たちに出来るコミュニケーションの方法を調べました。中でも点字は私たちでもよく目にするものだと考え、少しでも点字について理解できれば視覚障害者の方に寄り添うことが出来るのではないかと考えました。校内にも点字が設置されているのを見たことがあったのですが、どれも潰れてしまっていて点字としての役割がなくなってしまいました。そこで**私たちは自分達で調べ学んだことを活かし、校内のいたるところの点字を作り、貼り直しをさせていただきました。**

私は4月から正式に眼科で働くこととなります。眼科には目の不自由な方が多く来院されると思うので、今回学んだ視覚障害者の方との関わり方や知識を活かしていきたいと思っています。



子ども食堂について  
子ども心理学科3年 富田理紗子

私たちが「子ども食堂」を卒業研究のテーマに選んだ理由は、テレビや新聞で「子どもの貧困」について報道されているのを見て、興味を持ったからです。研究するに当たり、本学にもボランティアとして活動が紹介されている『静岡市子ども食堂ネットワーク』が主催する『竜南子ども食堂』に参加してきました。そこでは、ボランティアを中心とて、子どもだけでなく地域のお年寄りや子育てしている親子が交流できる場所と作りたての食事が提供されていました。

この研究を通して、**子どもの貧困とは身近にある問題だ**と思いました。インスタント食品での食事や、孤食など、温かい食事が得られないという事も貧困の一つだと感じました。私は、保育士として就職していく中で、**保育の中にある給食やおやつの時間に子どもたちが温かい雰囲気**で食事を味わうことができるような配慮を大切にしていきたいと思っています。





## 告別

学校法人中村学園  
副理事長・後援会長 佐野 康輔 先生  
平成 29 年 2 月 26 日逝去

昭和 61 年本学創立時より、30 年に亘り中村学園後援会長として、学生のために就職先新規開拓から学園運営まで本学園の発展にご尽力いただきました大恩人です。学生諸君はもとより保護者の方々、中村学園法人役員、教職員は、先生のご功績に対して深甚なる謝意と、ご冥福をお祈りください。 合掌

## 弔 辞

私は、公私ともに故中村忠雄とともに親子 2 代、康輔先生にお世話になった学校法人中村学園の中村徹でございます。

謹んで告別の言葉を申し上げます。

この場におよんでも、あまりにも突然の康輔先生の早すぎご逝去に接し、まだ信じ難い思いでいっぱいです。

今はただ、先生の柔和な笑顔と温かなお人柄、そして機知に富んだお話を、誰にでもわかりやすく伝えていただいた優しいお声とそのお姿を思い出すばかりです。

康輔先生は、お父上であります厳格な佐野嘉吉大先生から、政治家としての意志をお引き継ぎになり、県議会議員となられてからは、国政に通じた県議として、静岡県にとりまして国政と県政のパイプ役として大変貴重な存在でいらっしやいました。

スポーツ振興にもご活躍された先生ならではのエピソードも遺されました。

平成 15 年に我が県で開催された障害者スポーツ大会、わかふじ大会におきましては、来静された皇太子殿下との歓談の中、豊富な知識と見識により、静岡の歴史から観光に至るまでご進講されたおり、皇太子殿下におかれましては大変楽しく有意義に談笑なされました旨、宮内庁から県に異例のお礼状が届けられたそうですね。

数々の要職を歴任される中、平成 19 年 5 月には県議会議長に就任されました。くしくも佐野嘉吉先生が第 60 代、佐野康輔先生は第 100 代という大きな節目の議長に、県議会史上初の親子での就任となり、二代にわたり我が静岡県の発展に大いに貢献されました。

そしてまた思い出されますのは、毎年楽しみにしていた用宗の漁港を挙げての「しらすの会」。毎年数千人規模が集う大きなイベントで、これもまた佐野康輔先生の人望の厚さを示していたものでした。その多くの方々一人ひとりに笑顔でお声掛けなさっておられました。

これほどまでもご多忙な中、先生は静岡県内の職業教育や生涯学習機関である専修学校・各種学校の発展にも大きくご貢献下さいました「先代嘉吉先生とともに二代にわたる県内専修学校・各種学校の大恩人」でもあります。静岡県内の専門学校をはじめとする職業教育機関の団体、公益社団法人静岡県職業教育振興会、当初は社団法人静岡県専修学校各種学校教育振興会という名称でしたが、嘉吉先生が昭和 51 年初代会長としてご就任いただき、引き続き平成 5 年から康輔先生にご尽力を賜りました。加えて、静岡県私立専修学校退職金財団にあっては、昭和 52 年の財団発足にお力添えいただき、初代理事長としてご

就任し、会の発展にご尽力いただいております。それゆえに私達職業教育に携わる者が安心して教育活動に専念できるよう、多大なるお力添えを頂きました。

そして何より、私も学校法人中村学園の法人理事として、専門学校が昭和 61 年開校と同時に後援会会長として永きにわたり本学園の発展にご尽力下さいました。本学園創設者故中村忠雄ともどもお世話になり、まさに本学園が今日あるのは、先生なくして語ることはできません。両専門学校、幼稚園において入学式・卒業式、大運動会とご臨席いただき、あたたかくも力のこもった激励のお言葉を頂戴しました。今年度 30 周年を迎えました専門学校における記念式典にもご臨席を賜り、参集した各界の卒業生にも多数のお声掛けを頂きました。

特に、康輔先生におかれましては父亡き後、私の心の支えであり、学園の運営にあたり持ち前の豊富な知識と見識により、ご指導をいただき学園の発展に尽力いただきました。

ここにあらためて、先生のご功績に対して、公益社団法人静岡県職業教育振興会、また、学校法人中村学園法人役員、教職員、卒業生、学生・園児を代表して、深甚なる謝意を申し上げます。

康輔先生、長年、公私にわたり本当にありがとうございました。

今後は、康輔先生からいただきました多くのご厚情と思いに応え、地域創成に向け、有意義な人材育成につなげるべく、公益社団法人静岡県職業教育振興会と学校法人中村学園の発展に邁進、努力させていただく所存でございます。

どうぞ、安らかに眠り下さい。

平成 29 年 3 月 2 日

公益社団法人静岡県職業教育振興会 会長  
学校法人中村学園 理事長 中村 徹

合 掌